

【水の里の旅コンテスト 2022 応募企画】

【一般部門】

ジョワ TV

『日本潟湖（ラグーン）紀行 柴山潟と片山津温泉の旅』

（観光地域：石川県 柴山潟・および片山津温泉）

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	春・夏・秋		
【催行人員】	8名（最小催行人員：2名）	【お勧めする旅行者層】	40代以上シニア層
【旅行代金】	65,000円 (大人1名)	【代金内訳】	・交通費：北陸新幹線・北陸本線往復・・・32,000円 ・宿泊費（ほかオプション費用）・・・33,000円
【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】			
干潟は、大自然の生態系にはじまり、そこから派生する人々の営み、釣りや漁業、農業や食文化の源となる存在です。本企画では、「干潟」のなかでも特に観光としての要素の深い「潟湖」とその周辺に広がる温泉街に着目、「水の里の旅」として、旅の魅力をご提案・ご紹介さしあげるものです。			
【催行実績】	無 → 今後の催行予定：無		
【特記事項】	本企画は、当方がインターネット向け旅番組で企画・取材撮影を行った旅行地・行程を基に、一部見どころを追加して構成しております。動画をふくめ、すべてオリジナル案で作成しております。		

【 行 程 表 】

1日目	北陸本線「加賀温泉駅」からバスでアクセス、「片山津温泉」市街地で降車。 今回の目的地「柴山潟」の起点へ到着後、遊覧屋形船に乗って、柴山潟をひとしきり堪能。 その後、ホテルへ。宿泊するのは、敷地の中央に美しい水盤を湛える、まさに「水の里」の 風景に溶け込んだ「ホテルアローレ」です。温泉と「水の都」らしいグルメを堪能。
2日目	2日目の早朝、柴山潟を一周できる名物のサイクリングロードを巡ります。心地よい風を受けながら、水辺や堤防に生きる動植物たちの姿を観察します。 そして、柴山潟の歴史と文化へ触れるため「芸妓検番」へ。大正9年竣工の建物内に遺される当時の意匠を見学し、「晶子染め」を体験。 旅をしめくくります。

【主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産物など）】

ポイント1		<p>【コメント】</p> <p>北陸本線「加賀温泉駅」から車で10分少々。 片山津温泉の目前に広がる「柴山潟」は、木場潟や今江潟とともに、加賀三湖と呼ばれている湖の一つで、釣りやバードウォッチングなどアウトドアも楽しめる、片山津温泉のシンボルです。</p>
ポイント2		<p>【コメント】</p> <p>名峰・白山は、柴山潟はもちろん片山津温泉周囲のどの場所からも望むことができるランドマーク。 「白山水系」がもたらす生きものへの恩恵、めぐりめぐる生態系を象徴しています。</p>
ポイント3		<p>【コメント】</p> <p>「ホテルアローレ」は、柴山潟を一望する高台に建ち、客室からの眺望は地中海の優美さ、「水の里」の恵みを感じます。 水の都らしい、やさしい感触が特徴の弱アルカリ性・天然温泉も楽しめます。</p>
ポイント4		<p>【コメント】</p> <p>夕食は、コウバコガニや能登ガキなど、地のモノを生かしたイタリア風前菜、柴山潟でとれたフナのカツレツなどをいただきます。</p>

<p>ポイント 5</p>		<p>【コメント】 2日目は、サイクリングロードを巡ります。浮御堂を出発、湖畔を左回りに走ると、柴山瀉の北岸では、柴山瀉を代表する3つの水生植物、ヨシ群落、コウホネ群落、ガガブタ群落が広がります。</p>
<p>ポイント 6</p>		<p>【コメント】 柴山瀉の歴史と文化に触れるため、「芸妓検番 花館」へ。大正9年に芸妓の練習の場として建てられた建物で、現在はさまざまな体験が用意されています、片山津ならではのスポットです。今回は、源泉と柴山瀉の湖底土<small>こていど</small>を使った「晶子染め体験」に挑戦し、旅をしめくりました。</p>

以上